

◆区長の基本的な考えについて
 ①区政改革推進会議の資料について、議論を深めていくには物足りない。議論の裏付けとなる資料作成に取り組む必要があるのでは。②区政改革について、議会・区民との協働に対する区長の覚悟は。③区民、区議会と手を携えて区政改革を実現していく。

◆マイナンバー制度について
 ①「通知カード」の不達による再送準備に関して、保管やその後の対応についての考えは。②「個人番号カード」の交付申請の人員配置とさまざまな事例への対応は。③区民対象、区内事業者対象の説明会の実施回数は。④この間の準備作業を含めた率直な感想と覚悟は。

◆平成28年度予算と区長の基本姿勢について
 ①平成28年度予算編成に対する基本姿勢と重点で取り組む課題は。②職員構成について見直しを。③外郭団体と区の役割を明確に。④既存基金を整理し医療環境整備基金の新設を。⑤民間建築物・特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を促進せよ。

◆地域医療について
 ①区長の地域医療に対する考えは。②5病院構想の見直しは。③23区平均の2分の1の病床確保を。④特区等も活用し、積極的に病床確保を。⑤練馬区に災害拠点病院を。⑥総合福祉事務所管轄ごとに地域包括ケアシステム構築を。

◆子育て・介護に優しい練馬を
 ①区民の命と健康を守り、安心して生活できる環境を整えること。②子育て等に役立つ内容を検討。③介護予防について

重に保管。転送可能な場合は改めて通知し、区役所で受け取るか郵送のいずれかを選択。受け取り拒否、宛名なし等の場合は3か月程度保管し、最終的に破棄する。②区内6か所の区民事務所の各臨時窓口にて職員5名と委託職員4名を配置。窓口対応はマニュアル

◆高齢者施策について
 ①看取りについての区医師会、医療界全体への働きかけ、対応は。②在宅療養また看取りのアンケート実施の考えは。③社会福祉事業団の

◆終活について
 横須賀市が開始した「エンディングプラン・サポート事業」は、注目し検討に値すると思うが、区の考えは。①横須賀市における取り組みの利用状況を注視。

◆文化・芸術について
 ①文化・芸術の役割に対する区長の考えは。②文化・芸術を進める拠点施設のあり方の検討を。③先端技術を活用した文化・芸術と観光のマッチングを。④文化・芸術のインターネット等を活用した一元的な情報発信の整備を。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 ①効果的な支援策について
 ①地域福祉・福祉のまちづくり総合計画の見直しにおいては情報バリアフリー等については情報バリアフリー等ソ

◆区政改革について
 ①区政改革推進会議の議論についての区長の感想は。また改革を具体化するためのヒントは得られたか。②改革は費用対効果や効率性、サービスと受益者負担のバランス等の見直しが必要。区長の見解は。③区政改革を考える資料での具体的な課題は。④現在の人事制度の改善方法は。⑤職員に必要な意識改革とは。

◆区政に独立自尊の精神を！
 ①出張所の現状と課題は。②今後の各出張所の形態と役割は。③全区一律ではなく地域に合わせた機能、役割を持つことが重要。区の見解は。

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 ①効果的な支援策について
 ①医師を講師とする

◆生活困窮者自立支援制度について
 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

一般質問(要約)

◆区政改革について
 ①区政改革推進会議の議論についての区長の感想は。また改革を具体化するためのヒントは得られたか。②改革は費用対効果や効率性、サービスと受益者負担のバランス等の見直しが必要。区長の見解は。③区政改革を考える資料での具体的な課題は。④現在の人事制度の改善方法は。⑤職員に必要な意識改革とは。

◆区政に独立自尊の精神を！
 ①出張所の現状と課題は。②今後の各出張所の形態と役割は。③全区一律ではなく地域に合わせた機能、役割を持つことが重要。区の見解は。

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 ①効果的な支援策について
 ①医師を講師とする

◆生活困窮者自立支援制度について
 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆区政に独立自尊の精神を！
 ①出張所の現状と課題は。②今後の各出張所の形態と役割は。③全区一律ではなく地域に合わせた機能、役割を持つことが重要。区の見解は。

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 ①効果的な支援策について
 ①医師を講師とする

◆生活困窮者自立支援制度について
 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆区政に独立自尊の精神を！
 ①出張所の現状と課題は。②今後の各出張所の形態と役割は。③全区一律ではなく地域に合わせた機能、役割を持つことが重要。区の見解は。

◆教育について
 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 ①効果的な支援策について
 ①医師を講師とする

◆生活困窮者自立支援制度について
 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

平成27年第四回定例会の一般質問は、11月30日・12月1日・2日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

◆区長の基本姿勢について

安閑連法は立憲主義を破壊し強行。憲法尊重擁護義務にも反する。区は違憲性を認識し反対の意思を示すべき。

◆マイナンバー制度について

①個人番号制度は漏えいを防ぎ社会保険の抑制・削減が目的。凍結を。②介護や制度融資等、区業務での番号提供・記載・保管等、取り扱いの課題多い。認識は。③国は確定申告書等、番号未記載でも受理し罰則・不利益なし。

◆企画

①個人情報保護に万全を期して制度の導入と運用にあたる。②国からの利用の留意点等に関する通知を踏まえ適切に対応。③個人番号が不明等の場合は職権により職員が記載する対応をとる。

◆区の広報について

①区長の広報に取り組み基本姿勢は。②「よりどりどり練馬」キャンペーンを通じての手応えや今後の展開は。③全庁的な広報活動の成果は。④区独立70周年に向けての積極的な広報の展開は。

◆区長

①区のイメージアップを積極的に図ることが重要。②これまでにない大きな反響。今後も戦略的・積極的に展開。

◆区長室

③報道機関へのパブリシティによる掲載実績が平成24年度15件、26年度は25件と大幅に増加。④統一的なイメージで節目の年にふさわしいキャンペーンを展開。

◆スポーツ振興について

①文化としてのスポーツの促進が重要であるが、区の見解は。②今後予定されている施設整備への区の見解は。③誰もがスポーツを楽しめる

◆産業経済

④セミナーの開催や窓口相談を充実し、支援。

◆子どもの貧困について

①子どもの貧困の実情を把握する実態調査を行う。②子ども食堂の取り組みへの支援の必要性と認識は。③学習支援の場所や実施回数等、拡

安税法廃止へ！
子どもの貧困なくす対策を

日本共産党練馬区議団 米沢 ちひろ

◆区長

①区の保有データの分析で課題を明らかにしている。福祉 現在、実態調査を行う考えはない。②貴重な地域福祉活動の1つと認識。現時点で補助金等による支援は考えていない。③27年度の状況を踏まえて事業内容の拡充を検討。就学援助に該

◆企画

①個人情報保護に万全を期して制度の導入と運用にあたる。②国からの利用の留意点等に関する通知を踏まえ適切に対応。③個人番号が不明等の場合は職権により職員が記載する対応をとる。

進めよう！区民第一主義。

練馬区議会自由民主党 上野 ひろみ

◆光が丘地区の将来像について

①一団地認定に備え、実施した建築物現状調査の結果は。②未認定の建築物調査の進捗状況は。③さまざまな調査は住民に負担が生じないよう努力を。④住民に将来像のアンケートの実施をしては。

◆光が丘駅周辺の自転車駐車場整備について

①放置自転車対策として、恒久的な整備を強く要望。②道のりや駅前口一タリーの地下を活用した本格的で機能的な最新鋭の自転車駐車場の整備を。③区の見解は。④「ふれあいの径」の自転車駐車場は利便性と効果を

◆認定保育所について

①認可園と異なる基準等、事業者の努力では解決できない問題も多い。不適切な運営の保育所への巡回指導を強化し、運営不能に陥った時の対応を示せ。②認可保育所の抜本的増設と保育士の処遇改善

◆子ども

①必要に応じて指導回数が増。万一の閉園には一時的な緊急受入れや転園等に対応。②小規模保育事業等、多様なニーズに応えられるよう施設を整備。都の補助金を活用し保育士の処遇改善を図る。

◆ねりくまについて

①利用定員90人は大規模で公的保育の責任果たせ。②必要に応じて指導回数が増。万一の閉園には一時的な緊急受入れや転園等に対応。②小規模保育事業等、多様なニーズに応えられるよう施設を整備。都の補助金を活用し保育士の処遇改善を図る。

◆住宅リフォーム助成について

①区産業振興ビジョンに建設産業を位置付けよ。②住環境向上や経済効果等、他自治体の成果の認識は。③国の交付金等を活用して住宅リフォーム助成制度を実施せよ。

◆産業経済

①住宅都市の練馬区にふさわしい分野として福祉・生活関連産業を強化する。②経済効果は限定的。③助成を行う考えはない。

◆田柄川緑道の再整備について

①第二田柄川幹線の整備の進捗状況および今後のスケジュールは。②緑道の再整備には景観や利用効率の良いものになるよう、計画の段階から地域住民の意見も取り入れる場を設け、また早期実現を要望するが、区の見解は。

◆障がい者施策について

①障がい者施策に対する考えは。②区独自の補聴器助成を。③公共施設へ磁気ループの導入を。④地域密着型サービスの周知を。⑤看護小規模多機能型居

◆区長の基本姿勢について

①平成28年度当初予算編成に臨む考えは。②平成28年度税制改正大綱の内容から、区財政に影響を及ぼす新たな課題を想定しているか。③希望出生率を数値目標として示す自治体もあるが、区はどう考えるか。④ねりくまに

◆健康寿命を伸ばす施策について

①健康ポイント制度の導入を。②高齢者健康診査の受診率を上げなければいけないと思うが、区の見解は。③健康長寿都市宣言を23区初として制定してはどうか。④健康

◆児童虐待防止策について

①児童虐待防止に関わる職員の負担は大きいものと考えられるが、区はどう捉えているのか。体制づくりと人材確保が必要では。②地域の支援にNPOを活用する考えはあるか。③児童相談所が都から区へ移管された時の課題を

◆元気高齢者を増やし、健康寿命を伸ばす

①健康ポイント制度の導入を。②高齢者健康診査の受診率を上げなければいけないと思うが、区の見解は。③健康長寿都市宣言を23区初として制定してはどうか。④健康

◆高年齢者・障がい者施策推進で住みやすい街を

①子どもとの貧困連鎖を断ち切るため、福祉部門と教育委員会等の連携を強化し早期対策を。②ひとり親世帯等への就労支援の充実を。③学習支援の充実と対象学年拡大を。④デジタル化を検討。⑤区立図書館での実施を進め、学校にも働きかける。⑥導入を検討。⑦ブックスタート事業の成果を検証し、調査・検討。

◆高年齢者・障がい者施策推進で住みやすい街を

①子どもとの貧困連鎖を断ち切るため、福祉部門と教育委員会等の連携を強化し早期対策を。②ひとり親世帯等への就労支援の充実を。③学習支援の充実と対象学年拡大を。④デジタル化を検討。⑤区立図書館での実施を進め、学校にも働きかける。⑥導入を検討。⑦ブックスタート事業の成果を検証し、調査・検討。

一般質問(要約)

◆産業振興施策について

①第2回産業見本市に向けた取り組みは。②創業ねりま塾の卒業生連携の機会創出を。③空き店舗を活用した創業支援を。④小中学校での起業家教育の促進を。⑤従業員50人未満の事業者へストレスチェック表の活用を促進を。

◆健康

①健康ポイント制度の導入を。②高齢者健康診査の受診率を上げなければいけないと思うが、区の見解は。③健康長寿都市宣言を23区初として制定してはどうか。④健康

◆高年齢者・障がい者施策推進で住みやすい街を

①子どもとの貧困連鎖を断ち切るため、福祉部門と教育委員会等の連携を強化し早期対策を。②ひとり親世帯等への就労支援の充実を。③学習支援の充実と対象学年拡大を。④デジタル化を検討。⑤区立図書館での実施を進め、学校にも働きかける。⑥導入を検討。⑦ブックスタート事業の成果を検証し、調査・検討。

◆**区長の基本姿勢について**
問 消費税10%増税と国の社会保障大改悪計画に区として反対せよ。
企画 社会保障改革と増税は、必要かつやむを得ないと認識。
◆練馬光が丘病院について
問 ①基本協定書に基づいた検証と医療機能の充実を。②改築の基本構想策定に向け広く説明会の開催を。③一団地認定の説明は全光が丘住民に。④新病院の差額ベッドは現行割合に抑えるべき。

健康 ①救急・小児等4つの重点医療を担い実績は年々増加。急性期後の医療等の拡充をめざす。②基本構想策定懇談会の内容は全て公開。策定には広く区民の意見を反映。
③関係権利者に理解が得られるよう丁寧に説明。④今後、地域医療振興協会と協議。

◆**国民健康保険について**
問 ①来年度値上げしない手立てを。②多子世帯への均等割減を。③保険料支払いで生活保護基準以下の世帯を減免する境界層措置を実施せよ。
区民 ①値上げ抑制に配慮した方法を検討。②③国が検討中。動向を注視していく。

◆**精神保健施設について**
問 ①障がいの種別による格差は小さくすべき。区の認識は。②精神障がい者への心身障害者福祉手当と福祉タクシー券の支給を。③施策の検討段階で当事者や家族の声を反映させる仕組みを。④精神保健相談員を全保健相談所に配置し、常勤化せよ。⑤電話相談の時

◆**保谷駅周辺の踏切対策とまちづくり**
問 ①保谷駅周辺の踏切は、渋滞の発生や事故の危険性、緊急車両走行の妨げなど、多くの弊害を招いている。早期の対策促進を。②区民が安全に歩ける、安心して買い物ができる駅前通りの整備を。③みどりバス南大泉ルートと保谷駅早期着着を。④大泉学園町までの大江戸線延伸を着実に実現し、その後、大江戸線を分岐・南下させ、西大泉・南大泉・石神井台・関町・立野町から、吉祥寺・三鷹方面へ接続させれば、区西部の利便性の向上に繋がると考える。積極的な検討を。

技監 ①抜本的な解決には連続立体交差化が有効。まちづくり等の検討を進め、西武新宿線立体化の進捗を踏まえて取り組む。②東西道路の早期

◆**民間の発想力で、区政に新しい風**
 練馬区議会自由民主党 かしま まさお

◆**産業界** ①農業者に広く意見を聞き、安全でおいしい練馬産野菜を区内外に広める事業として取り組む。ねりマルシェはより多くの来場者が都市農業の魅力を感じる企画を工夫。②営農の継続性や農地保全について農業者の理解が必要。高松地区の成果を他地区へつなげられるよう努める。

◆**区長** ①問題意識を持ち自ら課題を発見し、地域で区民とともに考え行動できる職員を育成。
総務 来年度新制度を導入し効果的な指導・育成につなげる。新たな研修は今後策定の「練馬区人事戦略」に盛り込む。②交流先を開拓し積極的に進め、職員の意欲向上や組織風土の改革を推進。

◆**区民はマイナンバー不信**
問 区政喫緊の課題は、区民を数字で管理することに個人の情報や個人情報を守るか。区政は信頼無く改めて徹底した職員教育を。
企画 教育・研修等を通じ、

◆**石神井公園駅周辺再開発について**
問 ①再開発準備組合の検討の全容を全地権者や議会に示せ。②区は多額の公費支出したが、住民の生活・営業を切り捨て、大企業だけが儲かるまちづくりでいいのか。③資金計画破たんの場合の公費穴埋めの危険性は。④23号道路は優先整備路線に指定するな。
技監 ①計画案の都市計画決定の際には区民に示し意見を聞く。②再開発事業は、従前権利者の居住や営業の継続が利点。指摘は当たらない。③リスクは開発業者が負担。④都市計画道路は着実な整備が必要。第四次事業化計画策定に向け、都と連携し取り組む。

◆**財政について**
問 ①過去には目黒区や新宿区は、財政非常事態宣言を行った。区民に対し、率直に財政が厳しいことを伝え、理解を得る努力を。②近い将来、200億円余の財源不足に陥る。厳しくとも歳出削減に取り組まざるを得ない。財源を生み出す具体的な方法を問う。
区長 ①財政の現状や見通し等をまとめた資料を平成27年12月、議会と区民へ示す。
企画 ②収入増の工夫と収入額に見合った支出額にする見直しが求められる。基金や起債は今後の財政負担を見据えた計画的な積立と活用が必要。

◆**施設について**
問 区は、財政余力をはるかに上回る区立施設を抱えている。利用率や必要性が下がった施設から再編・統合を進めるべき。利用者が激減した出張所の窓口事務の廃止と地区区民館および地域集会所の機能の再編・統合を。
区民 これまでの出張所としての機能・業務については、廃止を基本とし、施設の活用

◆**地域文化** 来年度策定する公共施設等総合管理計画で、公共施設の適正配置、複合化等も視野に入れ、地域集会所のあり方を検討。
◆高齢者福祉について
問 高齢者人口の増加を理由に、非効率や無駄があることが見過ごされがち。①介護予防

◆**職員の意識改革と人事制度改革について**
問 ①私の前職の民間企業では、人事制度改革と新たな研修の導入で、社員の意識が大きく変わった。区においても、職員の意識を住民本位に変革できるように人事評価制度の改善と研修の導入を。②民間企業との積極的な人事交流の開拓を。

◆**キャッチフレーズは幻想か**
問 「みどりの風吹くまちピジョン」戦略計画、「アクションプラン」実施計画等は意味不明で区民は理解出来ない。「教育大綱」素案も具体的に欠け現実問題に十分な言及なし。いかなる区政を行うのか。将来像を具体的に示している。

◆**区財政経常収支比率は危機的**
問 決算で経常収支比率86.1%は危機的な80%を大きく超過。区が頼る財政調整交付金は都税の国税化やオリンピック経費増大等で困難な課題が予想される。区民税増収は期待できず医療費や生活保護費増大には歳出カット徹底を。
企画 現時点の財政構造は健全。財政の現状や今後の厳しい見通しを区民に周知し、ともに考えながら持続可能な区民サービスの確保に努める。

◆**区教育委員会の問題点**
問 区立中学志望校選択制は

◆**前川区政20か月 未だ政策も抽象的で意味不明**
 オンブズマン練馬 土屋 としひろ

◆**防・介護度改善の取り組み**
企画 ①統一的な会計基準の導入に向け、研究会を設置し、情報交換している。②他団体の事例も参考に研究。
監査 ③導入しなくとも、公正妥当な監査が実施できていると考える。
福祉 ④平成29年度から所轄の社会福祉法人等に指導検査を実施する予定。体制強化に取り組む。
◆教育について
問 大津市で発生したいじめ問題は、教育委員会の隠蔽体質に問題があった。独立性、外部性が担保された実効性のある救済制度が必要だ。教育委員会による調査を前提としない、外部の弁護士によるいじめ通報の窓口の創設を。
教育長 教育委員会では「いじめ等対応支援チーム」で対策が形骸化しないよう取り組んでいる。法務省や警視庁等、複数の窓口を繰り返し周知。

◆**新地方公会計と公監査について**
問 ①特別区間で、同一の会計基準の共有を。②事業別や課別の財務諸表を作成するなどマネジメントに生かす取り組みを。③財政援助団体の監査に、近代監査技法の導入を。④社会福祉法人の指導検査体制の強化を。

◆**学校差増大で義務教育の本質を歪めることにならないか。**
地域との連携も重視すべき。
教育振興 検証委員会の調査でも、保護者、生徒の多くから良好な評価。今後も必要なる改善を図り、選択制度を継続。
福祉・高齢者事業人材不足
問 高齢者施設増加による介護職員不足が深刻化している。無しの。積極的な安全対策を。設置し上空へ拡散。地表付近への影響は環境基準値の数百分の1以下と見込まれる。区は国等の事業者や地域住民との連絡会を立ち上げ、情報提供や安全確保に努めている。

◆**橋脚高架下高齢者センター**
問 橋脚高架下の老朽劣化で危険な落下防止工事。沿道住民との十分な対話を。区民の意見を聞き、可能な限り反映した。今後も工事説明会等で十分に説明する。
◆光が丘病院大型化で経営は
問 区医師会と日本大学による過去2度の経営破綻。人材、経営力等を懸念。区の見解を。見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

◆**外環道と外環の2の問題点**
問 外環道大泉で工事用巨大重機横転の重大事故が発生。大深度地下高速道の排ガス対策に有害物質浄化装置の設置は

◆**地域医療** 新病院の経営収支見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

◆**地域医療** 新病院の経営収支見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

◆**地域医療** 新病院の経営収支見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

◆**地域医療** 新病院の経営収支見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

一般質問(要旨)

◆**財政について**
問 ①過去には目黒区や新宿区は、財政非常事態宣言を行った。区民に対し、率直に財政が厳しいことを伝え、理解を得る努力を。②近い将来、200億円余の財源不足に陥る。厳しくとも歳出削減に取り組まざるを得ない。財源を生み出す具体的な方法を問う。
区長 ①財政の現状や見通し等をまとめた資料を平成27年12月、議会と区民へ示す。
企画 ②収入増の工夫と収入額に見合った支出額にする見直しが求められる。基金や起債は今後の財政負担を見据えた計画的な積立と活用が必要。

◆**施設について**
問 区は、財政余力をはるかに上回る区立施設を抱えている。利用率や必要性が下がった施設から再編・統合を進めるべき。利用者が激減した出張所の窓口事務の廃止と地区区民館および地域集会所の機能の再編・統合を。
区民 これまでの出張所としての機能・業務については、廃止を基本とし、施設の活用

◆**地域文化** 来年度策定する公共施設等総合管理計画で、公共施設の適正配置、複合化等も視野に入れ、地域集会所のあり方を検討。
◆高齢者福祉について
問 高齢者人口の増加を理由に、非効率や無駄があることが見過ごされがち。①介護予防

◆**職員の意識改革と人事制度改革について**
問 ①私の前職の民間企業では、人事制度改革と新たな研修の導入で、社員の意識が大きく変わった。区においても、職員の意識を住民本位に変革できるように人事評価制度の改善と研修の導入を。②民間企業との積極的な人事交流の開拓を。

◆**キャッチフレーズは幻想か**
問 「みどりの風吹くまちピジョン」戦略計画、「アクションプラン」実施計画等は意味不明で区民は理解出来ない。「教育大綱」素案も具体的に欠け現実問題に十分な言及なし。いかなる区政を行うのか。将来像を具体的に示している。

◆**区財政経常収支比率は危機的**
問 決算で経常収支比率86.1%は危機的な80%を大きく超過。区が頼る財政調整交付金は都税の国税化やオリンピック経費増大等で困難な課題が予想される。区民税増収は期待できず医療費や生活保護費増大には歳出カット徹底を。
企画 現時点の財政構造は健全。財政の現状や今後の厳しい見通しを区民に周知し、ともに考えながら持続可能な区民サービスの確保に努める。

平成27年第四回定例会の一般質問は、11月30日・12月1日・2日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。